

令和4年度 創造アイデアロボットコンテスト 実施要項

創造アイデアロボットコンテスト実行委員会

1 目的 「得点至上主義に走らず、発想や製作技術・努力を評価し合おう！」

- 中学校技術・家庭科で学習した知識や技能を生かし、ロボットの設計・製作を行ない、その成果の発表の場とすると共に、知識や技能の向上を図る。
- コンテストはひとつの授業の場として、参加者が互いの工夫点や機能性・構造等を学びあえるようにする。また、ものづくりに取り組んできた県内の中学生の交流の場とする。

2 日程 令和4年11月3日（木）文化の日

- 8：30 役員集合・機材搬入
- 9：00 準備開始
- 10：00 役員ルール確認
- 11：30 開場，受付開始
- 11：50 開会式
- 12：00 車検開始
- 12：30 チーム代表生徒ルール確認
- 13：00 競技開始（予選リーグ） ※エントリー数によって時間は変動します。
- 15：00 （決勝リーグ）
- 16：00 閉会式，表彰式，関東甲信越大会出場者発表
- 17：00 会場撤収完了

3 会場 長岡市立北部体育館 <https://niigata-bs.sakura.ne.jp/si/hokubu/>

〒940-0029 新潟県長岡市東蔵王2丁目2番72号 TEL. 0258-24-6116

アクセス・・・信越線 北長岡駅下車（徒歩7分） 駐車場約160台

4 開催部門 <http://ajgika.ne.jp/~robo/>参照 **参加資格** 全部門，中学校3年間で複数回可能

◇基礎部門 <Ace in the hole2>

- 中学校技術・家庭科の授業の基礎的・基本的な知識や技能で製作できる機構を有したロボットによる競技。競技時間は90秒とする。
- 1チームは生徒1名から4名で構成する。

◇計測・制御部門 <ドキドキ！ロボット収穫祭～「スマート農業」に挑戦！～>

- ロボットは自律制御によるロボットとし，無線等による遠隔操作をしてはならない。競技時間は90秒とする。対戦形式ではなく、数回の試技による競技とする。
- 1チームは生徒1名から3名で構成。試技は操縦者（1名）アシスタント（1名）の2名までが参加。

◇応用・発展部門 <「支援物資を運搬せよ！」>

- 有線操作によるメインロボット（2台まで製作可）と，プログラムによる自律制御による運搬ロボット（1台製作可、製作しなくてもよい）による対戦型の競技。競技時間は150秒とする。
- 1チーム最大6名で構成し，役割等はチームで決めてよい。

◇パフォーマンス部門

- 技術・家庭科の全内容を対象にした動画作品部門

5 参加費

全部門とも参加費は無料とする。

6 表彰

各部門4チームを表彰する。(優勝, 準優勝, 技術賞, 敢闘賞)

※優勝, 準優勝, 技術賞を受賞したチームには関東甲信越地区大会への出場権(対面式, オンライン式のいずれかで実施)が与えられる。

参考 令和3年度の全国大会および関東甲信越大会は、各会場および参加会場の学校とZoomで接続し、本部中継による同時配信を行い競技を実施した。

(競技は各部門1回のみでの対戦とし、PR動画やPRタイムなど総合的に判断)

7 申込期限 エントリー用紙をメールで申し込むこと。

○書類入手先:新潟県中教研技術・家庭科部会HP <http://niigata-gika.jp/>

○メール送付【エントリー用紙】:令和4年10月19日(水)まで

※メールの件名は「ロボコン県大会申込み(中学校名)」

※例年、パフォーマンス部門は期日までにインターネット上の動画投稿サイトにUPしています。動画のUP方法や期日については以下のサイトで確認してください。

「全日本技術・家庭科研究会」<http://ajgika.ne.jp/~robo/>

8 申し込み先, 大会についての問い合わせ先

長岡市立東北中学校 保坂 恵 〒940-0864 長岡市川崎5丁目485番地1

メールアドレス 10630173@kome100.ed.jp TEL 0258-35-2715 FAX 0258-35-1727

※学校のアドレスでなく、掲載の学校個人アドレスに必ずお願いします。

9 連絡事項

○服装は「制服」で参加してください。体育館のフロアで試合をしますので、内履きを用意してください。

○会場での飲食は禁止です。昼食を早めに摂って入場するようにしてください。

○ギャラリーを観戦者の皆さんに開放する予定です。大会当日は、参加校それぞれが新型コロナウイルス感染症に関する対策を十分に準備したうえで参加してください。新型コロナウイルス感染症の状況によっては、観戦者の人数制限などをお願いすることがあります。

○進行時刻は目安です。可能な範囲で日程を早めます。

○体育館に参加校(参加人数によってスペースの大小はあります)ごとに待機場所をつくって作業スペースを確保します。ロボットの整備, 分解, 組み立てはそこで行うようにお願いします。くれぐれも体育館のフロアに油分が付くことがないようにしてください。

○体育館でハンダごてが使えるのは、指定されたベニア板の上だけです。また、ハンダごてとハンダは個人で用意してください。延長コードなど電源は用意があります。

○不要物の持ち込みや各校のルールやマナーに反する行為がないようにお願いします。